

再配信

オンデマンド研修 4回シリーズ

※2024年度にオンデマンド配信した動画を
再配信いたします

各話
3,300
(税込)

知的障害・発達障害のある人への 「対話」を通した就労支援 ～合理的配慮に着目して～

就労支援の対話って？
どう進めたらよいの？



就労における
合理的配慮とは何？

具体的には
どう支援をして
いけばいいの？



職場での
相互理解ってどうす
ればいいのか？

成功事例が
知りたい！



これまでわたしたちが取り組んできた調査から、組織（企業等）と障害者の相互理解を促進するためには「対話」（ダイアログ）が有効であることが明らかになりました。本研修では、知的・発達障害のある人の合理的配慮や合理的配慮をめぐる対話について、当事者と組織といった両者の視点から理解を深める内容になっています。

01 就労支援に必要な「対話」

講師 中尾文香氏 NPO法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事



・就労支援事業所における支援の難しさ・分かり合えなさの正体・それぞれの主観フィルター（メンタルモデル）・個々にとっての適切な学習モデル・よい学習をした事例・ダイアログ（対話）の進め方等

02 就労支援事業所における「対話」-具体的な支援について-

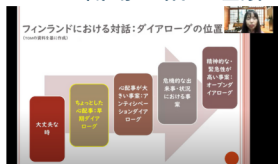
講師 濱松若葉氏 津田塾大学 学芸学部 国際関係学科 助教
仲本 順子氏 株式会社ソルファコミュニティ サービス管理責任者



・賃金向上には職場内の会話が不可欠。例えば、一般社団法人村ワーカーズホームでは、コーヒー農園からカフェまでを障害者就労B型事業で一貫運営し、安定した品質を確保。ソルファコミュニティTEAM VILLAGEでは「農業×福祉」で農福連携を推進し、合理的配慮やミーティングを活用。個々の特性に合った整理方法を見出し、支援と気持ちの言語化を通じて働きやすい環境を構築。

03 職場で相互理解を促す「対話」とは

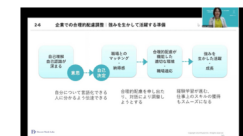
講師 片山優美子氏 長野大学社会福祉学部教授



・障害者雇用における「対話」とは何をもたらすのか深く掘り下げていきます。
「対話」の意味や理論から概観をとらえ、相互理解をする一歩として自分を知り、価値観の相違を尊重し、一人ひとりが「聴く&話す」を大切にする。お互いの共通点を大事にしつつ違いを尊重し合い、相手を知ろうとする対話がお互いに求められる。

04 強みの発揮につながる合理的配慮

講師 高橋亜矢子氏 株式会社プーカー ミドルマネージャー



・対話がどのように合理的配慮に繋がり、それを実際に活かしていくかに支援をしていくか掘り下げていきます。自己理解とそれに基づいた自己決定の課題について 強みを生かして活躍するとは？ 企業での合理的配慮調整について 対話により配慮を機能させ支援する 対話による支援がもたらすものとは？

配信期間

8.1(金)～9.30(火)

9.1(月)～10.31(金)

- 01 就労支援に必要な「対話」
- 02 就労支援事業所における「対話」

- 03 職場で相互理解を促す「対話」とは
- 04 強みの発揮につながる合理的配慮

お申込期間 **チラシがお手元に届いた時点からお申し込み頂けます。**

各話配信中はお申込み可能ですが、配信期間の延長はございませんのでご注意ください。